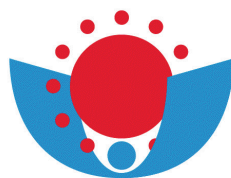


令和 3 年度
浦添市てだこ市民大学

事業報告書

令和 4 年 3 月
市民協働・男女共同参画課



てだこ市民大学

目 次

1 講座の実施状況		1
2 目標の達成状況		3
3 講座等の記録（第1回講座）		4
（第2回講座）		9
（第3回講座）		14
（第4回講座）		18

【参考資料】

浦添市てだこ市民大学実施要綱

令和3年度浦添市てだこ市民大学実施要領

浦添市てだこ市民大学沿革

1 講座の実施状況

(1) 概要

本市では、平成30年3月に策定した第四次浦添市まちづくり生涯推進基本計画において、『『まちづくり協働』による『共生・循環型社会』の実現』を取組方針として掲げ、『『てだこ市民大学』の拡充と講座の充実』を取組内容の一つとしました。

令和3年度の浦添市てだこ市民大学(以下、「市民大学」)は、これまでの実績を踏まえ、「求む！うらそえ応援団」をテーマに講座を開催しました。昨年度は4月に国の緊急事態宣言が発令され、さらに7月には沖縄県の緊急事態宣言も出されたことから、今後も続くであろうことが予想されるコロナ禍に対応していくため、市民大学のオンライン化へ向けた取り組みを始めました。そのかいあって今年度はZoomを使ったライブ配信や録画配信の講座を開催し、感染状況にかかわらず予定していた講座をすべて無事実施することができました。

(2) 期間(講座数)

令和3年5月～令和4年1月(4講座)

(3) テーマ、目的と目標

【テーマ】

求む！うらそえ応援団

【目的】

- ① 「うらそえ」のまちを知る
- ② 協働によるまちづくりを学ぶ
- ③ 協働のきっかけをつくる

【目標】

- ① うらそえのまちについて、魅力と課題に気付く
- ② 協働によるまちづくりを学び、当事者の意識をもつ
- ③ 協働によるまちづくりへの意欲を向上させ、活動のきっかけとする

(4) 令和3年度 浦添市てだこ市民大学の講座一覧

回	日時	講座名及び受講者数	講座内容	受講方法
1	6/26(土) 10:00～ 12:00	① 学長講話 ② 『Zoom でつながろう』 受講者数：22名	○浦添の姿を知る ○浦添の将来像を知る 講師：浦添市長 松本 哲治 氏 ○Zoom を使ってオンラインで繋 がることを体感してみる 講師：総務省地域情報化 アドバイザー 鈴木 邦治 氏	① 動画配信 ② Zoom
2	8/28(土) 10:00～ 12:00	『市民協働を始めよう』 受講者数：10名	○市民協働について知る 講師：琉球大学地域連携推進 機構 特命准教授 畑中 寛 氏	Zoom
3	10/23(土) 10:00～ 12:00	『地域で育てる子どもたち』 受講者数：22名	○地域における子ども支援につい て知る 講師：こども支援センター ゆいまわる 代表 仲間 知穂 氏	動画配信
4	1/22(土) 10:00～ 12:00	『うらそえの歴史』 受講者数：29名	○てだこのまち浦添の歴史を知る 講師：琉球歴史文化研究所 クボウグランデ 所長 賀数 仁然 氏	動画配信



2 目標の達成状況

令和3年度浦添市てだこ市民大学実施要領に基づき、目標の達成状況を把握するため、受講者に対するアセスメントを行いました。アセスメントの結果（年度平均）は以下の通りです。

項目		評価
1	うらそえのことが好きだ	4.5
2	うらそえの将来像をイメージすることができる	3.4
3	地域の課題に興味を持った	4.1
4	地域の課題は自分のことだと感じる	3.8
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う	3.9
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい	4.1
評価平均		3.9

*評価の基準：5（とてもよくあてはまる） ⇄ 3 ⇄ 1（全くあてはまらない）

アセスメントは、講座受講後のみ評価となっています。6項目とも中央値3を超えており、評価平均も3.9となっているので年間を通して良好な評価であったことがうかがえます。次ページ以降に各講座のアセスメントと講座内容のアンケート結果を記します。



3. 講座等の記録

第1回「Zoomでつながろう」

令和3年6月 26 日(土) 10:00~12:00

講師:総務省 地域情報化アドバイザー

鈴木 邦治 氏

アセスメントの結果

*評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇄ 3 ⇄ 1(全くあてはまらない)

1 アセスメント項目ごとの評価

項目		評価
1	うらそえのことが好きだ	4.3
2	うらそえの将来像をイメージすることができる	3.4
3	地域の課題に興味を持った	3.9
4	地域の課題は自分のことだと感じる	3.6
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う	3.7
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい	3.9

2 講座内容について

1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

①協働ときいてもハードルが高く感じてしまうが、市長のお話はわかりやすく、協働を自分のこととして捉えることができた。今後の浦添の発展に興味をもって参加していきたいと思う。だからこそ余計に、最初に感じるハードルの高さをどうやれば低くできるか、気軽に協働に参加できるかということが問題だと感じた。今回の市民大学の講座は、その第一歩となったと思うので、今後も期待したい。オンライン講座がもっともっと増えると嬉しいです。皆様お疲れ様でした。

②時間の割り振り、共有方法の手間取る時間が気になった。

『初心者のための』ZOOM 研修会ということだったので、もう少し噛み砕いてほしかった。こういうことなら前もって資料添付をしてもらい、各自揃えても良かったのではないかな?最後に質問時間もなくなり残念だった。また、最後の顔出ししてない人への「退出お願い」も、もう少し丁寧な言葉を選んで頂きたかった。最初の案内で「終了時に撮影があるので・・・」として断りがあれば良かったかも。ZOOM ホスト予定があるため期待して

の参加だったが、内容がつながっていない感があり、少し期待はずれだった。でも、初めての研修会開催につき、ご苦労も多々あったかと思います。ありがとうございました。

※学長講話について

壁の地図の指し示す物が気になった。ペーパーナイフ？持ち手もあり、見方では凶器に見えたり、壁を擦る音にドキッとしたりとして内容が頭に入らなかった。普通の指し棒で良かったのでは？

③Zoom 講座ということで、Zoom に詳しい方からお話を聞けるのを楽しみにしていたが、初心者向け講座ということで、あまり目新しい情報はなかった。また、メールで届いた講座に参加するためのリンクが機能せず、講座に入室するまでに少し手間がかかった（電話でパスワードを確認する必要があった）。

④ゲストとしての基本知識が理解できました。ホストとしては、私の知識では無理だと気づきました（後半はほとんどついていけませんでした）。

⑤確かに「初心者のための…」と銘打たれていましたが、思った以上に初歩的な内容でした。ZOOM の「使い方講座」と「ホスト運営講座」は別の回で実施した方がいいと思います。

⑥これまで ZOOM は参加者側でしか使ったことがなかったのですが講座をきいて主催者側としてなにか ZOOM でやってみたいと思いました。画面の表示の切替や途中でチャットや絵文字をいれたりという技をこれまでやったことがなかったのでとても勉強になりました。

⑦ZOOM のダウンロード、インストールから教えて頂きたかったです。携帯は知人、タブレットは職場に持ち込んで後輩にやってもらいました。自宅の PC は自分で苦労しました。講座前の前日の事前練習があったのは助かりました。講座前半は良かったのですが休憩後は難し過ぎるのと初心者には unnecessary 部分かと思いながら聞いていましたし、結局理解出来ませんでした。PC とタブレットで画面表示が若干違っていたりと色々と質問もしたかったのですが、午後からの予定も有り質問されている方が居る途中で退出するしかなかったのは残念でした。すでに出来る感じの方も居て受講者の差を感じました。市長さんの手に持っていた指示棒？はペーパーナイフ？なのでしょうか？でも使うべきではないと思いました。

⑧Zoom の詳しい内容を体験ができたことがよかった。講師陣、スタッフがよく準備されているのが理解できた。今後 Zoom の主催者になることもできそうだと、少し自信につながった。松本市長が将来のまちづくりビジョンを明るく話してよかった。そのようになるとよい。皆で考えていくことが大切です。

2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。(自由記入)

- ①基地返還後のまちづくりについて市長が話していた内容が興味深かったです。私なら、返還後の跡地は、映画やドラマなどの撮影地にします。いくつものスタジオや、自然を生かしたロケ地を用意して、ハリウッドや太秦映画村のような一大ロケ地にします。撮影班の長期滞在により、人材の雇用や周囲の飲食店、関連事業などに対する経済効果に加え、観光スポットにもなるので良いのではないかと思います。
- ②返還前と後のキャンプキンザーの中に入って見学する機会があれば、ぜひ参加したい。
- ③多くの市民団体が、Zoom を利用して交流をしたい(ホストとして)と思っていると予想します。しかし、私のような 60 代を過ぎると I T 知識に弱いので、短時間でホストを理解するには無理でした。最低 2 時間 ~~×~~ 3 回は必要だと思います。
- ④今回の講座テーマである ZOOM に関して…であれば、子どもたちの交流に活用してはどうかと思います。各小学校間、各中学校間、あるいは小中学校を結んで小6生と中1生での交流会があるとおもしろいと思いました。
- ⑤かりゆしセンターの○サークルの代表とジム利用者です。緊急事態宣言中で現在の閉館は仕方のない事だと思いますが、昨年からのコロナ禍で相次ぐ休館にサークルの中止などで中高年の行き場が無くなってしまい、心身に不調が出ている人もいます。中高年にタブレットを貸し出して運動や講座など自宅に居ても交流ができる環境を整えて頂けたらと思っています。その為にも自分も ZOOM のホストになれるぐらいマスターしたかったのですが今回の講習の感じでは難しくハードルが高い様に思えました。今後、直接対面指導での ZOOM 講座がありましたら受講したいと思っています。なので市に無料 ZOOM 講座を依頼できる環境を作って頂き、受講者も団体(サークルや中高年の仲間等)で申し込みが出来たら同じレベル同士となりやすいので今回、私を感じた『おいてけぼり』の感じが無くなるではと思いました。

⑥講座でも受講者同士が、コロナ禍で自宅から、会議ができるようにチャンスを作ってほしいです。チャンスがあって、経験をこなすことが大切だと思います。

3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。 (自由記入)

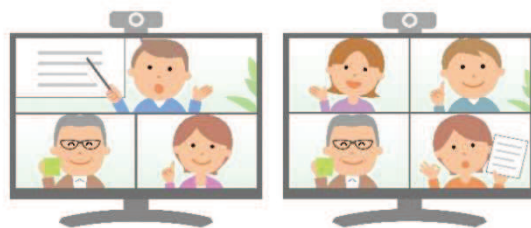
①具体的なものは思いつきませんが、Zoom 講座が楽しかったので、今後も開催してほしいです。質疑応答や、受講者同士のコミュニケーションが取れる内容だと嬉しいです。

②現在活動している多くの市民団体の紹介、例えば市内子ども食堂を運営されている人や、市内美らまちサポーター等団体紹介を YouTube で紹介しながら、市民から希望者を募り、地域課題を自ら発見し、課題解決に取り組むプログラムによる、更なる市民活動設立支援に取り組む。全国的には小学校区まちづくり協議会設立に取り組む自治体が多くなっています。

③コロナ禍で現在は活動を休止していますが、再開できたときに備えてイベントの広報や周知方法についてアイデアをお持ちの方からお話を聴いてみたいです。

④浦添市の歴史(浦添市の成り立ち、地域による名所、民話や言い伝えなど)、モノレールでだこ浦西駅周辺の今後、桑の事(桑の育てかた、自宅の桑の葉の利用法、商品など)、沖縄の薬草(育てかた、料理方法など)、終活(家族が居る場合は亡くなくても手続きをする人がいますが、シングルでパートナーに子供もいない場合などの事前準備?)、定年前に定年後の事(継続雇用制度、退職金、税金、国民健康保険料や介護保険料などの社会保険料)、中高年が運動できる機会や場所、指導者の紹介、お勧めなウォーキング道路や公園などの利用時間、シルバー人材(定年後の仕事のあり方)、浦添市のボランティア(団体や参加方法など)、マイナンバーカードについて。

⑤地域と貧困問題をとおしてのまちづくり。





浦添市てだこ市民大学 雑記帳 第38号 令和3(2021)年 7月

【学長講話】

令和3年6月28日土曜日、松本哲治学長動画出席のもと、令和3年度浦添市てだこ市民大学が開講されました。学長からは、今のうらそえの姿と、これからのうらそえについて、講話がありました。

今年度のてだこ市民大学は、開講式直後の第1回講座から、令和4年1月19日の閉講式を含め全4回の講座を予定しています。



【第1回公開講座 Zoomでつながろう】

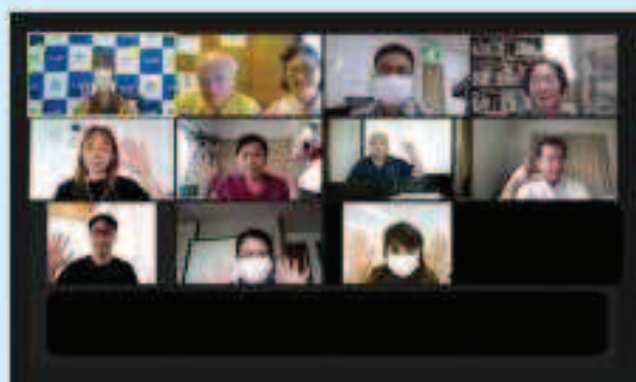
開講式のあとは、現在コロナにより停滞気味な市民活動を、オンラインツールの活用により継続させることを目指し、第1回公開講座が開催されました。

講師に、地域情報化アドバイザーの鈴木邦治氏をお招きし、Zoomを使ってオンラインで繋がることを体験しました。

第1部では、Zoomミーティング画面に表示されるマイクやビデオ、リアクション等のアイコンの説明・使い方をレクチャー。

第2部からはホストをする際の注意点の説明、第3部では会議以外でのZoom活用方法を学びました。

画面共有機能を学ぶ際には、受講者2名が画面共有(ホワイトボード機能を使用)にチャレンジする等、講師の話聞くだけでなく、受講者も参加しながら、体験型の講座となりました。



途中、画面の切り替えや進行が上手くいかなかった場面もありましたが、皆さんに最後まで温かく見守っていただき、無事、てだこ市民大学初のオンライン講座を終えることができました。

コロナの厳しい状況が続いていますが、今回の講座をきっかけに、オンラインツールを上手に使いこなし、市民活動に役立てていただけると幸いです。

＼ 受講者からの声 ＼

- ・ Zoomの体験ができてよかった
- ・ Zoomでホストすることに少し自信が持てた
- ・ 知らない機能を体験できて勉強になった
- ・ Zoomのダウンロードから教えてほしい
- ・ ホストの説明は難しかった
- ・ 第1部と第2部は講座を別にしてほしい

次回の講座は・・・
「市民啓働をはじめよう」
8月28日(土)10時～12時
＊Zoom配信

第2回「市民協働を始めよう」

令和3年8月28日(土) 10:00～12:00

講師：琉球大学 地域連携推進機構

特命准教授 畑中 寛 氏

アセスメントの結果

*評価の基準は、アセスメント項目に対し、次のとおりとした。

5(とてもよくあてはまる) ⇄ 3 ⇄ 1(全くあてはまらない)

1 アセスメント項目ごとの評価

項目		評価
1	うらそえのことが好きだ	4.6
2	うらそえの将来像をイメージすることができる	3.8
3	地域の課題に興味を持った	4.8
4	地域の課題は自分のことだと感じる	4.4
5	協働によるまちづくりに参加してみたいと思う	4.8
6	協働によるまちづくりについてもっと知りたい	4.8

2 講座内容について

1. 今回の講座を受講して、感じたことをお書きください。(自由記入)

- ①「市民協働をはじめよう」素晴らしい講座内容ありがとうございました。所管課以外の職員を含めて、参加者が少なかったのが残念です。
- ②「まちづくり」に興味を持ったのは最近で、住んでいるからにはもっともっと良い街で地域の繋がりもある所であって欲しいという思いで参加したのですが、益々関心を持ちました。今後も勉強する機会を持ちながら何らかの形で関わっていけたら、という思いが湧いてきています。「市民協働」のまちづくり実践地域として浦添市が沖縄県で先駆的な街になれば良いですね。
- ③「まちづくり」には、色々な書き方があってそれぞれ違う意味を持つものだと知ることができた。普段、協働を意識しながら仕事をしていますが、深いところまで理解できていなかったもので、いい機会になりました。ありがとうございます。

④市民活動支援の仕事をしている立場から、今回の浦添市ハーモニーセンターさんの「市民協働をはじめよう」講座を受講させていただき、とても勉強になりました。ありがとうございます。以下、勉強になった点です。

- ・全体として、オンラインでの講座が丁寧かつスムーズで、気持ちよく受講できました。（音声や画質、カメラの切り替え、島袋さんや上間さんの落ち着いた説明などとても聴きやすく分かりやすく、ストレスなく聴き取れました。）
- ・最初に松本市長の動画で市長の浦添愛や受講生自身がまちづくりの当事者、一緒に浦添をつくっていかう、というメッセージが伝わり、モチベーションに繋がりました。
- ・畑中先生の「市民協働をはじめよう」の内容は、「協働」の定義や地域公共人材の育成プログラムについて、とても分かりやすく、直で私の業務に役立つものでした。むしろ、私のような立場（行政や人材育成をする立場）の人間を対象としている内容だったのではないかと（大城喜江子さんや上江洲さんも同様の立場なのかな）、と思いました。そういう意味では、ほかの受講生の受講動機とマッチしているかどうかは気になりました。つまり、純粋に市民協働（活動）をしたい、という受講生のニーズは、協働（活動）をはじめめるうえでの最低限の協働の定義や心構え、またどういった支援メニューがあるかを知りたいのではないかと思います。私の印象では、今回のテーマタイトルは「市民協働を今一度考えよう～協働人材を育てるプログラムの紹介～」だったのかなと。純粋に活動のはじめのころのヒントを求めている受講生にとっては難しい内容だったのではないかと思います（もちろん、地域公共政策士の受講に結びつけられればとてもいいと思いますが）。このあたり、ほかの受講生アンケートから、どう読み取ったかを後日同業者としてシェアさせていただけると嬉しいです。

⑤協働における多機関の連携について、初めて耳にする機関名もあったため、各機関の取組を学んでいきたいです。

2. 今回の講座内容に関連して、うらそえをより良くするためのあなたのアイデアや提案などがあればお書きください。（自由記入）

①浦添市在住、または市内職場勤務の地域公共政策士がいらっしゃったら、ぜひ約300名のてだこ市民大学 OB と繋げて頂き、市内の課題解決に取り組みたい。

②私も含めて高齢化社会となっていくのに、周りでは IT に苦手意識が先に来て触らない...という人も多いです。コロナ禍で人との接触が自由に出来ず、家に籠る事で身体機能もコミュニケーション力(認知機能)も落ちて心配です。実際に会ってコミュニケーションを取るのが一番ですが、コロナ禍の今こそ ICT を活用した繋がりを持てるのも選択肢の一つだと思います。それはコロナ後でも、今後身体機能が衰えて自由に歩き回れなくても人との繋がりを持てる事にもなります。先ず使えるようになる事。出来る人がボランティアで教えて、その会場を市で提供する。そして地域のコミュニティでも活用するシステムを作る。対面とオンラインが合同となるハイブリット型集会。そんな形ができたらと思います。

③浦添市のまちづくりについて私ども、なは市民活動支援センターとして2ヶ月に一回程度のハーモニーセンターさんとの意見交換会で教えてもらうことができ、とても貴重に思っています。おとし 2019 年度には、宜野湾市さんも含めた三市合同市民活動交流会の開催(沖縄国際大学にて)もありました。そこで、カーミージー里浜保護や浦添城跡前田高地ハクソー・リッジの戦跡から学ぶ取り組みについて知ることができました。また、モノレール駅開通に伴う駅周辺のまちづくり(スマートシティ)や GIGA スクールの動きにも注目させてもらっています。松本市長がおっしゃっていたように、キャンプキンザー跡のまちづくりがビッグプロジェクトとして今後あるなかで、やはり、市民協働のプロセスが今後本当に大事になってくると思います。

「うらそえまちづくり協議会」さんはじめ市民活動団体と行政との日頃の関係性、コミュニケーションが大事だと思いますので、ここは、那覇市も同じ課題なのですが、仕組みとして、市民協働の提案を市民から受け止める相談窓口や受け止める職員の力量を高める研修の強化など、行政の環境整備が必要だと思います(私の、また私が属する組織の課題、チャレンジでもあります)。

④モノレール・路線バス・自家用車を組み合わせた、移動にまつわるコツの勉強会の開催(パーク & ライド の推進)。

3. 今後、てだこ市民大学で実施してほしいテーマがありましたらお書きください。 (自由記入)

①市民協働団体、個人のネットワークづくりをテーマに講座開設希望。

②カーミージー里浜や浦添城跡、駅周辺まちづくり、ピアラル浦添など協働で行っているまちづくりについて。

※オンライン講座、とてもいいと思います。

有料はいいと思いますが、支払い方法については、メリット・デメリットありますよね。また、このシートですが、「アセスメントシート」は少々、専門用語っぽく難しい印象があるので、「アンケートシート」でもいいのではないかな、と思いました。

また意見交換させてください。浦添ハーモニーセンターの皆さん、お疲れ様でした！

③ 社会教育(博物館、図書館、公民館等の取組)。



市民協働をはじめよう



浦添市てだこ市民大学 雑記帳 第39号

令和3(2021)年 8月

第2回公開講座 市民協働を始めよう

令和3年8月28日土曜日、「コロナでもまちづくりをあきらめない」をテーマに、第2回公開講座が開催されました。講師は、琉球大学 地域連携推進機構 特命准教授の畑中寛先生。講座は、松本哲治学長による講話(録画)のあと、1. 市民協働とは何か、2. 地域公共人材の育成と地域課題解決について、3. 質問タイムと、約1時間半、Zoom配信で行われました。

第1部では、市民協働の定義や、協働の主体、方法、新しい公共など、協働について基礎的なことを学びました。

第2部では、地域公共人材の育成の取り組み、地域の課題解決の手法をご紹介いただき、「沖縄地域公共政策研究会」による地域課題解決の事例を学びました。



今回、市民協働をこれから始めてみたい方へ、基礎的なこと、そして、次のステップに繋がるような内容をご提供させていただきました。

これを機に、皆様のまちづくりに対する情熱がさらに高まり、次のアクションに繋がれば幸いです。

受講者の声

- ・松本市長の浦添登が伝わった
- ・まちづくりに益々関心を持った
- ・団体・個人のネットワーク作りをテーマにした講座の開設を希望
- ・協働について深く理解する、いい機会になった

次回の講座は

「地域で育てる子どもたち」
10月23日(土)10時～12時
講師:仲間知穂 氏
こども相談支援センターゆいまるる代表
Zoomにて録画配信

お問い合わせ

浦添市 市民部 市民協働・男女共同参画課
TEL/098-874-5711 FAX/098-874-5890
MAIL/siminkyodo@city.urasoe.lg.jp

▼ホームページ



▼Facebook

